

第1回 安来市医療提供体制検討委員会 議事要旨

1. 日 時 令和6年6月28日（金）15：00～16：30

2. 場 所 安来市役所安来庁舎4階 議会大会議室

3. 出席者

（委員）

栗谷義樹委員長、杉原整副委員長、竹内俊介委員、杉原建委員、杉原勉委員、山崎泉美委員、水田正能委員、大久佐明夫委員

（オブザーバー）

田中和之島根県医療政策課調整監、夏苺千晶税理士

（事務局）

吉野文康健康福祉部長、加藤昌和病院改革推進室長、青木尚美病院改革推進室係長、荒田侑拓病院改革推進室主任

4. 議 題

- （1）会議の進め方について
- （2）現状分析について

5. 議事概要

（1）会議の進め方について

- ・事務局より会議の開催スケジュール、今後の会議で行う予定の審議事項について説明を行った。
- ・会議は全7回の予定とし、第3回までに市の医療提供体制の将来像の設定とそこに至るために解決すべき事項の整理を行い、第4回目以降では解決に向けた取り組み等について必要に応じて会議を開催することとなった。
- ・事務局からの説明の後、委員による意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

（杉原建委員）

市内2病院の考えだけではなく、開業医と病院の連携も医療提供体制構築に向けて重要であることから、医師会の協力を得ながら開業医の先生の考えも踏まえた意見交換の場を設ける必要がある。

(杉原勉委員)

安来市は松江市や米子市と比較して調剤薬局との連携が弱いと考えている。
今回の会の中で連携強化に向けた意見交換を行う必要がある。

(杉原建委員)

病院経営における労働生産性の向上に向けた取り組みについては、委員長の豊富な経験からの助言を踏まえて、しっかりと議論していきたい。

(2) 現状分析について

- ・事務局より安来市の医療提供体制について検討するにあたり、現状を把握するために必要な分析作業およびそのために必要なデータについて説明を行った。現状分析を踏まえた課題整理を行い、次回の会議で分析結果を報告することとなった。
- ・委員からの主な意見は以下のとおり。

(竹内委員)

重症化予防の観点からは、医療の面からだけではなく、介護保険に関連したデータ分析が必要。

(竹内委員)

松江医療圏の中の安来市という視点を持ち、同じ医療圏である松江市との連携をどのように考えるかという点も念頭に、課題整理をする必要がある。

(山崎委員)

データ分析は重要であるが、体制を考えていく際には、安来市の地勢を考えて患者の移動時間や移動手段といった観点での議論も行うべきである。